

2021年度

# 事業計画書

自 2021年 4月 1日  
至 2022年 3月31日

一般財団法人 日本経営史研究所

## 令和3年度事業計画

自 令和3年4月1日  
至 令和4年3月31日

### ○ 令和3年度の事業計画および収支予算の概要

令和3年度の事業計画と収支予算の概要は、以下のとおりです。

全日本海員組合の『海員組合100年史』編纂事業については、本年度はOBヒアリングを行いつつ精緻な目次案を作成する予定ですが、昨年12月からのコロナ禍による緊急事態宣言のためにOBのヒアリングは旧年度中にはできませんでした。今年度には予定のヒアリングを終え、目次案の確定をしたのち執筆に入りたいと思っています。

本年4月には、㈱ダイキンと『ダイキン工業100年史』の契約を締結する見込みであり、すでに目次構想の検討に着手しております。令和7年10月までに、日本語の本史とともに、英文版・中国語版を刊行する予定であります。

研究事業ならびに出版計画では、公益財団法人三井文庫とともに共同事業として立ち上げました『三井物産史の研究』につきましては、引き続き執筆再開に向けて三井文庫と調整中です。平成24年にスタートしました『産業経営史シリーズ』は、『グローバル企業』『電機産業』『自動車工業』につきましては、本年度中の刊行をめざして執筆者の督促など努力を重ねていますが、コロナ禍の影響もあって大幅に遅滞しております。また本シリーズ最終巻として『日本の産業』の提案があり、現在進行中の企画について出版のめどが立ち次第、同書の編纂に着手したいと考えております。

経営史料センターの活動としましては、会社史の収集を継続して行ない、所蔵資料の充実に努めております。優秀会社史賞の選考は隔年事業であって、本年度には選考を行いませんが、来年度の選考に備えて会社史の収集を行っている次第です。収集した会社史については、内外の研究者・関係者のニーズに応えるべく閲覧に供してまいります。

日本経営史研究所が、創立以来事務局を引き受けてきました企業史料協議会につきましては、本年度も従来通りの支援活動をつづけてまいります。企業史料協議会の各種研究会も、コロナ禍の影響でリモート形式の研究会をするなど、さまざまな工夫によって活動を展開しています。日本のビジネスアーカイブズは、今や国際的にも国内的にも関心を持たれるようになっており、いっそうの協力・支援を行なう所存です。

本年度の収支予算は、添付の収支予算書のとおりを見込むこととなります。

令和3年度の研究・出版事業および会社史等の編纂受託事業は以下のとおりです。

1. 研究・出版事業

1) 産業経営史シリーズ

\* 『グローバル企業』『電機産業』『自動車産業』

(継 続)

2) 『三井物産史の研究』

(継 続)

2. 会社史等の編集受託

1) 『海員組合 100 年史』(仮題)

(継 続)

2) 『ダイキン工業 100 年史』(仮題)

(新 規)

以上